

2023年度 ドコモ市民活動団体助成事業 活動成果報告書

2024/9/30

<p>団体名</p>	<p>一般社団法人愛媛デジタル女子プロジェクト</p>		<p>活動タイトル</p>	<p>ひとり親世帯をデジタルスキルアップを通してエンパワメントする事業</p>				
<p>望ましい社会状況および団体のビジョン（社会的役割と活動基盤）</p>			<p>■ 活動風景</p>					
<p>● 地域の望ましい社会状況(ビジョン)</p>	<p>当団体の実現したいビジョンは、「デジタルの力を活用して誰もが自分らしくいきいき働き生きる社会」である。具体的には、デジタルを活用することで自分らしい働き方や生き方を発見・選択し、夢や目標を持ち、様々な人と出会い多様な知識や考え、価値観に触れることで個々にお互いを認め合う優しい社会の実現である。そのためには誰もがデジタルスキルアップを望めば叶い継続したリスキリングが可能な社会環境が必要であり、必要な情報が得られ、生き方や働き方について気軽に安心して相談できる環境が整備されている必要があると考える。</p>		<p>活動風景①</p>	<p>ひとり親のためのデジタルスキルアップ講座「ひとり親のためのデジタルエンパワメントProgram」の実施 キックオフ会の様子。自己紹介や目標設定などを行った。ドコモCS四国の方からのご挨拶やメディア(愛媛新聞)の取材・掲載をいただいた。</p> 				
<p>● 団体の社会的役割(ミッション)</p>	<p>急速に多様化情報化している社会の中で地方ではまだまだ情報が少なく、生き方や働き方の選択肢も少なく迷いや不安を抱える方が多く存在する。特に所得の少ないひとり親世帯においては子供に十分な教育を受けさせられないといった環境があり、教育格差は将来的な所得格差に繋がることから貧困の連鎖も懸念される。そのような連鎖を断ち切るためにも誰もがデジタルスキルアップし自分に合った働き方を選択し挑戦できる環境が必要であると考えた。</p>							
<p>● 団体の活動基盤</p>	<p>当団体のミッションは、「地方でも女性達が気軽にデジタルスキルアップや働き方に関する様々な情報に触れられる機会を創出し、学習意欲をサポートする」ことである。具体的にはイベントの企画・運営、継続したリスキリング環境を提供するデジタルスキルアップコミュニティへの取り組みを推進する。 ひとり親においては就労について一歩踏み出すためにメンタルケアも必要なことから受講者の自己肯定感を高め、生き生きと自信をもち、望む就労形態選択を行うことができるような独自のエンパワメントプログラムが必要だと考える。</p>							
<p>■ 活動報告</p>			<p>■ 1年間の目標に対する達成状況(まとめ)</p>					
<p>● ひとり親のためのデジタルスキルアップ講座 「ひとり親のためのデジタルエンパワメントProgram」の実施 オフライン・オンラインにて学習相談会やスキルアップセミナーをコミュニティ単位で実施し、気軽に働き方やデジタルスキルアップについて相談できるような環境を提供することでひとり親の女性達のエンパワメントを図った。</p> <p>● ひとり親世帯の親子のためのデジタルスキル体験講座 教育格差によりデジタルスキルや新しい働き方に対して知識が少ないと思われるひとり親世帯の親子を対象にアバター体験やMinecraftスキン制作、愛媛大学教育学部と共催することでキャリア教育も実施することができ、親子で未来の可能性を感じる機会を創出した。</p> <p>● デジタルスキルアップセミナーの開催 企業との共催によるデジタルスキルを体験できるセミナーや、働き方について気軽に相談できる場所として座談会を開催。多様な働き方についての理解を深めたり、他者と悩みを共有することで孤独感の解消や学習へのモチベーション維持に繋がった。</p>			<p>● ひとり親のためのデジタルスキルアップ講座 「ひとり親のためのデジタルエンパワメントProgram」 ①開催 5回実施（当初計画6回を5回に変更） ②目標アウトカム「就労意欲・自己肯定感・デジタルスキルの増加・新しい働き方へのチャレンジ」：参加者の70%以上が2段階以上UP。</p> <p>● ひとり親世帯の親子のためのデジタルスキル体験講座 ①開催 2回実施 ②目標アウトカム「デジタルスキルを知って世界が広がる」：参加者の90%以上が2段階以上UP。</p> <p>● デジタルスキルアップセミナーの開催 ①開催 9回実施（当初計画5回を9回に変更） ②目標アウトカム「デジタルスキルについて興味意欲の向上等」：参加者の90%以上</p> <p>● 活動基盤の強化 ①スタッフ研修2回実施 ②ボランティアスタッフ：9名、スキル3段階修得者：7名</p>			<p>活動風景②</p>	<p>デジタルスキルアップセミナー「キャリア形成・リスキリングをテーマにしたセミナー」開催 21名の方にご参加いただきワーク&シェアタイムを設けることで他者と悩みを共有し、孤独感の解消やキャリア形成意識を高めた。</p> 	
<p>■ 事業を通じて得られたノウハウ</p>			<p>■ 望ましい社会状況を達成するための課題</p>			<p>■ 活動成果のアピールポイント（自由記入）</p>		
<p>● プログラムを実施したことでコミュニティ運営において気を付けるべきポイントが浮き彫りとなり、メンバーやボランティアのために支援における注意事項を整理することができた。</p> <p>● 相談会やセミナーにおいて複数回ひとり親の方よりヒアリングを重ねたことで、リアルなお困りごとを調査することができ、より効果的な支援の可能なプログラム構成に反映することができた。</p> <p>● セミナー後にアンケート調査を実施することにより参加者のニーズや課題を的確に把握し、サービス内容の向上、リピート率の増加に役立てることができた。</p> <p>● デジタルスキルアップセミナー及び座談会を9回実施させていただいたことで、ハイブリッド環境でのスムーズな進行や広告等を使った集客のノウハウを得られた。</p>			<p>当団体のビジョンとミッションを踏まえ、今年度は、「ひとり親のためのデジタルスキルアップ講座」「ひとり親世帯の親子のためのデジタルスキル体験講座」「デジタルスキルアップセミナーの開催」を実施したが、以下の課題が明らかになった。 「ひとり親のためのデジタルスキルアップ講座」では、途中で参加率が低くなってしまった方がみられたことからオンライン上でのコミュニティを作るなどサポート側と今まで以上に信頼関係を育む場所が必要であることを把握した。また、県内の他の支援団体ともより連携し情報交換をし役立てる必要があるといえる。「親子デジタルスキル体験」では、デジタルを活用した働き方の可能性について情報提供するためにはより対象年齢合わせた構成を考える必要があることが分かった。「スキルアップセミナー」ではスキルアップ意識の向上やキャリア形成意欲の向上が見られたが単発の開催であったため参加者同士の繋がりを生むことが少なかったように思う。今後も毎月開催する座談会等の案内をすることでフォローアップを行うと共に、参加者同士のエンパワメントを図りたい。</p>			<p>この1年間の活動を通じて</p>	<p>当団体は104名の参加者とプログラムによる支援を通して5名の女性の自己成長やキャリアの発展</p>	<p>を達成しました。</p>
<p>■ 受益者の具体的な変化（自由記入）</p>			<p>・「このプログラムのおかげで変わりました」という声をいただいた。次第に笑顔で明るくなられ、積極的に未来のことを考えている様子が見られた。 ・「いろいろな方とお話することで元気をもらえるし、今までと違った考え方ができるようになった」という視野の広がりを感じられる意見を多くいただいた。</p>					